

4～6 割の中学生が毎日 1 時間以上ネットを利用

～考えてみましょう！親子間のスマホルール～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・4 割～6 割の中学生が、スマホ・ケータイで毎日 1 時間以上インターネットを利用。
- ・保護者は子どもの ICT 利用効果に期待も。

1. 調査結果

1-1. スマホ・ケータイでインターネットを利用する時間

関東一都六県の小中学生に、スマホ・ケータイでインターネットをする時間(ブラウザでの検索、映像の視聴、オンラインゲーム、LINE の利用を含む)を伺いました。その結果、高学年になる程、インターネット利用時間が長くなる傾向がありました。中学生になると 4 割～6 割がスマホ・ケータイで毎日 1 時間以上インターネットを利用していました。

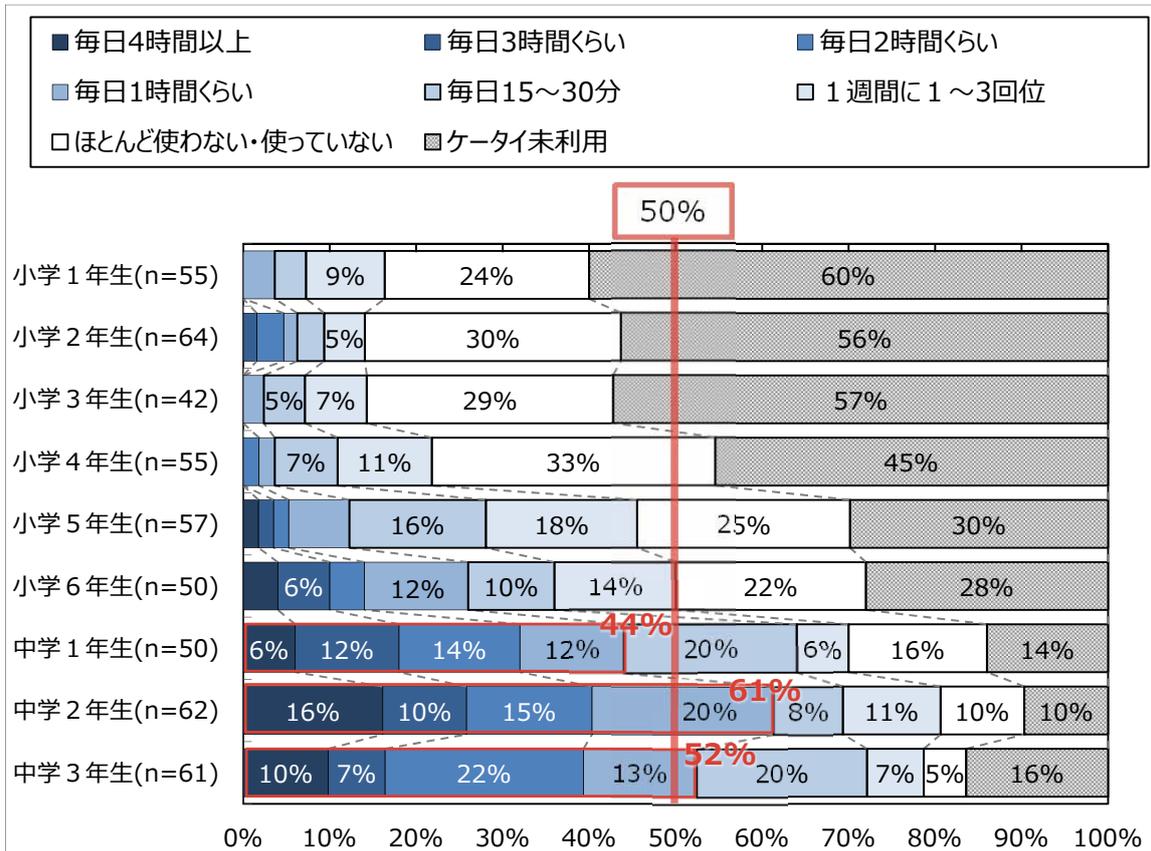


図 1. スマホ・ケータイでインターネットを利用する時間(SA・学年別)

[調査対象：関東一都六県在住の小中学生(2017年10月に面接で調査)]

1-2. 保護者が子どもの ICT 機器利用に期待する効果

小中学生の子どもをもつ保護者に、子どもの ICT 機器利用で期待する効果を伺いました。その結果、「情報機器の使いこなし」や「知識の幅の広がり」に回答した保護者が約 7 割に達していました。

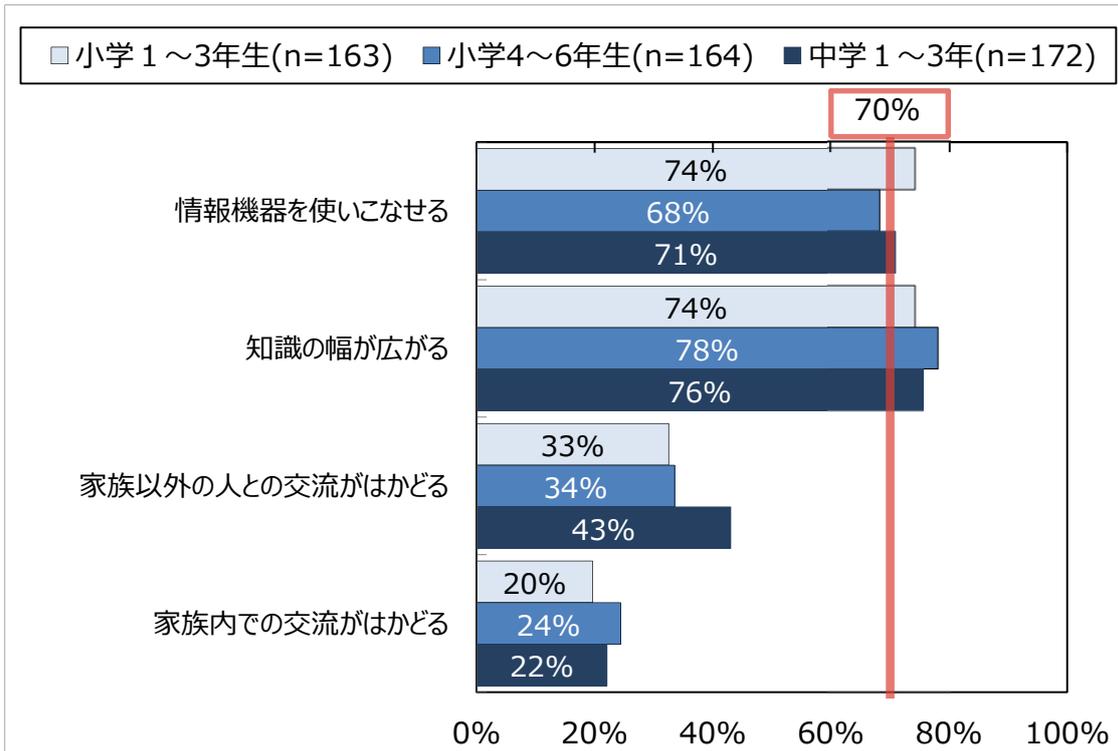


図 2. 子どもの ICT 機器利用で期待する効果(MA・学年別)
 [調査対象：関東一都六県在住の小中学生の子をもつ保護者(2017年10月に面接で調査)]

前回のレポートでも「中学入学を機にスマホ利用率が約 8 割に拡大」という調査結果とともにお伝えしましたが、スマホ利用について、親が関与することにより、安全な使い方を伝えるとともに親子間のスマホルールを話し合ってみる必要があるのではないのでしょうか。小中学生の方が安心・安全にスマートフォンを利用していただくためのガイドや、スマホ・ケータイ安全教室のご案内を下記の URL で公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。<<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/>>

2. 調査概要

調査方法	訪問面接調査
調査対象	関東一都六県に在住する小中学生の子どもとその保護者
有効回答数	500 組
サンプリング	層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)] 都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(50地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7～9歳、10～12歳、13-15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出
調査時期	2017年10月

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 <msri-inq-ml@nttdocomo.com>